

17日 日曜

Ⅱコリント

6:1 私たちは神とともに働く者として、あなたがたに懇願します。神の恵みをむだに受けないようにしてください。

6:2 神は言われます。「わたしは、恵みの時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。」確かに、今は恵みの時、今は救いの日です。

6:3 私たちは、この務めがそしられないために、どんなことにも人につまずきを与えないようにと、

6:4 あらゆることにおいて、自分を神のしもべとして推薦しているのです。すなわち非常に忍耐と、悩みと、苦しみと、嘆きの中で、

6:5 また、むち打たれるときにも、入獄にも、暴動にも、労役にも、徹夜にも、断食にも、
6:6 また、純潔と知識と、寛容と親切と、聖靈と偽りのない愛と、

6:7 真理のことばと神の力により、また、左右の手に持っている義の武器により、

6:8 また、ほめられたり、そしられたり、悪評を受けたり、好評を博したりすることによって、自分を神のしもべとして推薦しているのです。私たちは人をだます者のように見えて、真実であり、

6:9 人に知られないようでも、よく知られ、死にそうでも、見よ、生きており、罰せられているようであっても、殺されず、
6:10 悲しんでいるようでも、いつも喜んでおり、貧しいようでも、多くの人を富ませ、何も持たないようでも、すべてのものを持っています。

6:11 コリントの人たち。私たちはあなたがたに包み隠すことなく話しました。私たちの心



Bible Reference
聖書の記述

は広く開かれています。

6:12 あなたがたは、私たちの中で制約を受けているのではなく、自分の心で自分を窮屈にしているのです。

6:13 私は自分の子どもに対するように言います。それに報いて、あなたがたのほうでも心を広くしてください。

「神の恵みをむだに受けないように」とは、救いのチャンスを逃さないようにということでしょう。それは伝道のためです。「今は恵みの時、今は救いの日」とあるからです。「いつか伝道しよう」「いつか主のために働く」「そのうちに福音を伝えよう」では手遅れになるかもしれないからです。今を逃しては救いのチャンスがなくなるのです。

ですからパウロの伝道はノンストップです。伝えやすいときもあれば、そうでないときもあり。評判の良いときもあれば、そしられるときもあると言っていますが、どんなときでもパウロは伝道しました。

私たちは救いを伝えるのに、またはその準備をするのに、整った条件を待ちすぎかもしれません。待っているだけで時間が過ぎて、チャンスを失っている人があまりにも多いのではないでしょうか。

「何も持たないようでも、すべてのものを持っています」とは、神様の視点から見たときの違いを表しています。人間的な判断で消極的にならないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

